

令和4年度仙台市障害者等保健福祉基礎調査

アンケート調査概要（案）

1 調査の目的

次期「仙台市障害者保健福祉計画」、第7期「仙台市障害福祉計画」及び第3期「仙台市障害児福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する障害児者の実態、保健福祉サービスの利用動向・利用意向を調査するとともに、市民の障害児者に対する認識の状況等を把握し、計画策定の基礎資料とする。

2 調査方法

仙台市内に在住する障害者、障害者の家族、市民に対して、調査票を郵送または関係団体経由で配布し、返信用封筒にて返信していただく。

3 実施期間（予定）

令和4年度中（令和4年度下半期）

4 調査対象区分及び配布数

- ・平成28年度に実施したアンケート調査に準じて調査対象区分を設定する。
- ・平成28年度の調査対象区分別の調査実績等から、必要配布数を算出する。

調査対象区分	H28 配布数	有効回収数	回収率
① 身体障害者本人(65歳未満)	681	322	47.3%
② 身体障害者本人(65歳以上)	679	412	60.7%
③ 知的障害者本人	686	383	55.8%
④ 知的障害者の家族	502	283	56.4%
⑤ 障害児の家族(18歳未満)	511	274	53.6%
⑥ 精神障害者本人(通院)	696	318	45.7%
⑦ 精神障害者本人(入院)	252	195	77.4%
⑧ 精神障害者の家族	418	192	45.9%
⑨ 難病患者本人	699	362	51.8%
⑩ 発達障害(児)者本人	300	138	46.0%
⑪ 発達障害(児)者の家族	298	140	47.0%
⑫ 市民	697	303	43.5%
合計	6,419	3,322	51.8%

※①及び②の方のうち、視覚障害のある方の調査票については、テキストデータ版及び点字版を作成・配布する。

5 対象者の抽出方法

対象者を障害者基本システム・住民基本台帳システムで抽出できる場合は、システム上の名簿から無作為抽出を行い、郵送にて調査票を配布する。また、対象者をシステムで抽出できない場合は、それぞれの障害種別に関係する団体等を経由して対象者に調査票を配布する。団体等経由で調査票を配布する対象者については、平成 28 年に配布を依頼した団体を参考に構成する。

(1) 手帳所持者及び難病医療費助成受給者に対して無作為抽出を行う

- ・ 身体障害者本人（65 歳未満）
- ・ 身体障害者本人（65 歳以上）
- ・ 知的障害者本人
- ・ 精神障害者本人（通院）
- ・ 難病患者本人

(2) 住民基本台帳の名簿から無作為抽出を行う

- ・ 市民

(3) 関係団体に調査票の配布を依頼する

- ・ 知的障害者の家族
- ・ 障害児の家族（18 歳未満）
- ・ 精神障害者本人（入院）
- ・ 精神障害者の家族
- ・ 発達障害（児）者本人
- ・ 発達障害（児）者の家族

6 調査内容

- ・ 13 の分野について、共通質問項目と独自の質問項目を設定することを基本とする。
- ・ 調査対象区分ごとの経年変化を捉えるため、前回調査に準じた 60～70 個程度の質問項目を基本としつつ、近年の法改正等による環境変化及び障害者施策推進協議会、各課公所からの意見を踏まえた質問項目を設定する。

《分野》

A. 基本的な属性	F. 社会参加	K. 緊急時の対応
B. 住まいと暮らし	G. 健康・医療	L. 自由記述
C. 所得状況	H. 福祉サービス	M. 障害理解
D. 日常生活	I. 相談機能	
E. 就労状況	J. 権利擁護	

7 スケジュール

資料 3－3 の通り